NPO 法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 設立 20 周年記念（第 21 回）シンポジウム

WAMINA
Nonprofit Organization
Wakayama Regional
Medical Information
Network Association
http://wamina.jp

南海トラフ大地震・その時
～医療・介護情報ネットワークをどう活かすか

全国で多くの医療・介護の情報ネットワークが構築されています。和歌山県では「きのくに医療連携システム青洲リンク」が運用されており、平時の医療連携支援に加えて、災害時の診療情報共有基盤を提供しています。近い将来必ず発生すると言われる大災害に、これらの地域医療・介護ネットワークはどのような役割を果たすことができるのでしょうか。WAMINA 設立 20 年を迎えた本年、このテーマについて皆さんと考えたいと思います。

2025 年 12 月 6 日（土） 14:00 ～ 17:00（13:30 受付開始）

会　場：和歌山県民文化会館 特設会議室（和歌山市小松原通一丁目1番地）

定　員：１００名（先着順）

参加費（資料代等）：1,000 円

医療情報技師ポイント：３ポイント付与（予定）

プログラム

14:00 ～ 14:05　＜開会挨拶＞
入江 真行（NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 理事長）

14:05 ～ 14:25　**報告「WAMINA20年の歩み」**
道本 浩司（NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 副理事長）

14:25 ～ 15:25　**基調講演**
加藤 正哉（公益社団法人地域医療振興協会／有田市立病院 管理者）

15:25 ～ 15:35　＜休憩＞

15:35 ～ 16:25　**講演**
渡部　愛（日本医師会総合政策研究機構）

16:25 ～ 16:55　＜総合質疑＞
座長：西川彰則（和歌山県立医科大学 医療情報部長/教授、NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会理事）

16:55 ～ 17:00　＜閉会挨拶＞
中井 國雄（NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 理事）

（敬称略）

主催：NPO 法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会（WAMINA）
E-mail　info@wamina.jp　　Web サイト　http://www.wamina.jp/

後援：和歌山県、（一社）和歌山県医師会、（一社）和歌山県薬剤師会、（公社）和歌山県病院協会、和歌山県情報化推進協議会、日本医療情報学会関西支部、関西医療情報処理懇談会

講師プロフィール

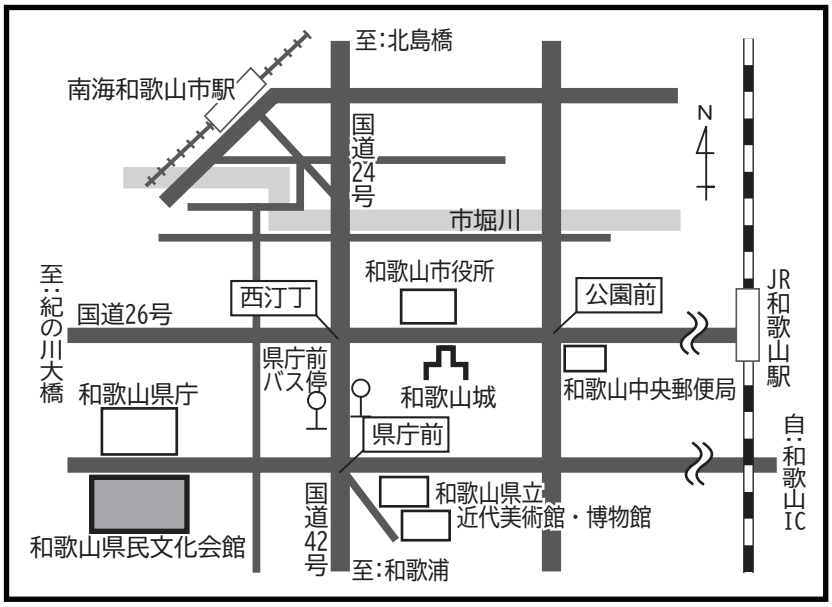
加藤（かとう） 正哉（せいや） 氏

宮城県仙台市出身。1982 年に自治医科大学医学部を卒業後、国立仙台病院（現・仙台医療センター）で研修を開始。東北大学医学部脳疾患研究施設脳神経外科を経て、宮城県内の公立病院・へき地診療所で地域医療に従事。その後、自治医科大学救急医学講座にて講師・助教授を務め、1997 年から米国ニューメキシコ大学に留学。2011 年より和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座教授、2023 年に同大学を退職し名誉教授。現在は有田市立病院の管理者を務める。

渡部　愛 氏

1997 年から 2001 年、名古屋大学大学院医学系研究科で医療管理情報学を学び、2001 年から日本医師会総合政策研究機構で主任研究員を務めている。

会場へのアクセス



■南海電鉄「和歌山市駅」より
徒歩 約20分
タクシー 約5分
バス 約10分（9・10番のりば）
「県庁前」バス停下車

■JR「和歌山駅」より
徒歩 約35分
タクシー 約10分
バス 約10分（2番のりば）
「県庁前」バス停下車

■阪和自動車道「和歌山I・C」より
車で約15分・約4km

■駐車場
会館横 有料駐車場

Googleマップ→

参加お申込み

お申込み方法　メールまたは、申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

締め切り　2025年１２月３日（水）12：00

メール　E-mail：info@wamina.jp

申し込みフォームURL　https://forms.gle/QDwdYQVUq8yJjEuR9
右の二次元コードからもアクセスできます。

※定員（100名）になり次第、締め切らせていただきます。